

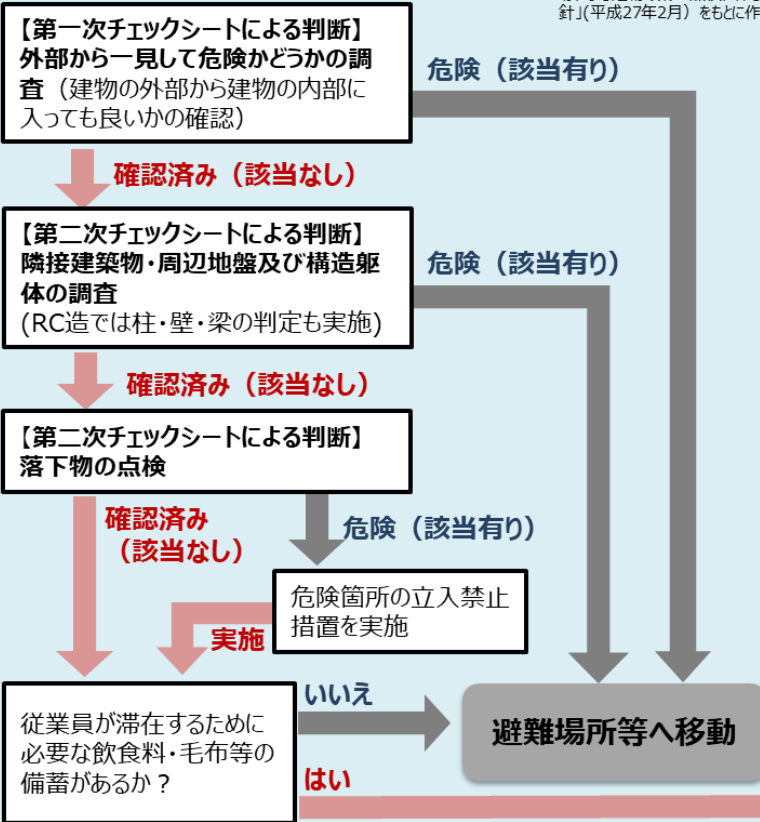
<参考> 事業所内待機/帰宅判断の考え方(例)

事前準備

平時の防災対策として、内閣府（防災担当）「大規模地震発生直後における施設管理者等による建物の緊急点検に係る指針」（平成27年2月）を参考に、建物安全確認の「カルテ」および「チェックシート」を作成し、教育・訓練を実施する。

ゲーム開始前 事業所内待機可否の判断

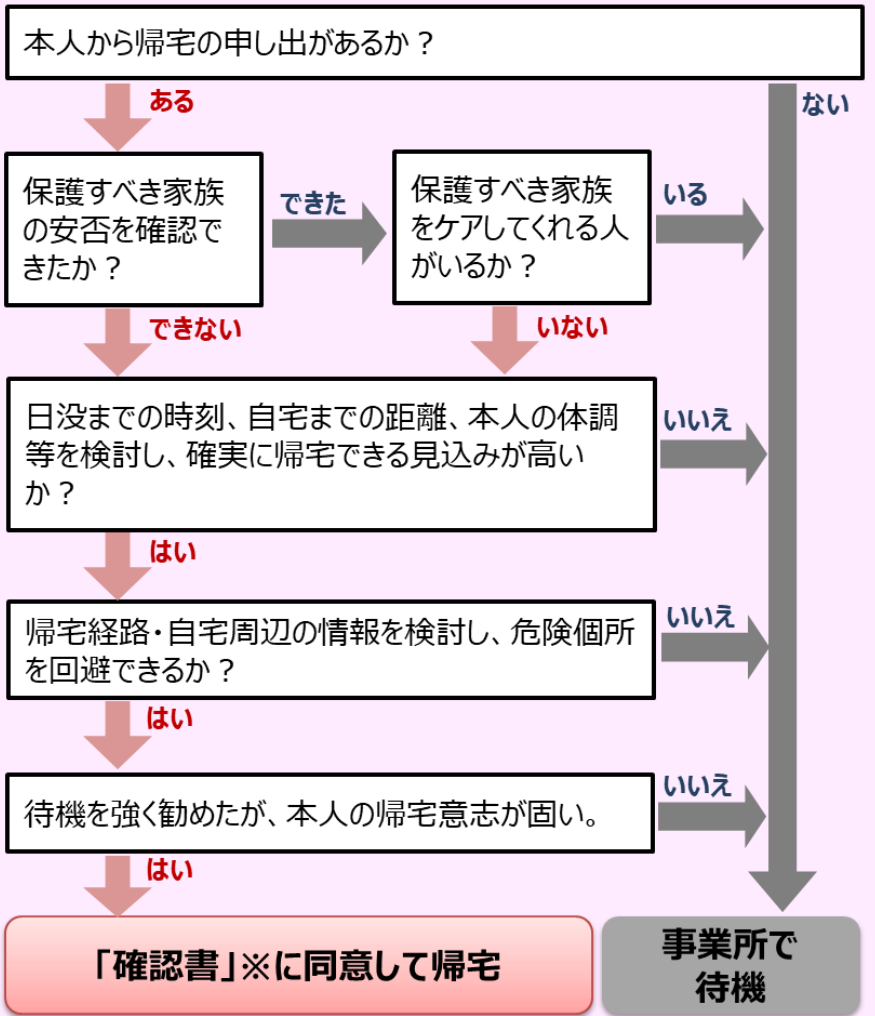
内閣府（防災担当）「大規模地震発生直後における施設管理者等による建物の緊急点検に係る指針」（平成27年2月）をもとに作成。



帰宅可否の判断

※「確認書」とは、帰宅希望者が次の①～③に同意し署名する書面を想定している。資料2参照。
 ①会社より待機を要請されたが、自己の意思で帰宅する。
 ②事業所外での安全は帰宅希望者自身が責任を負う(事業所が支援しないという趣旨ではない)。
 ③帰宅中、緊急車両や道路啓開作業の邪魔にならないよう配慮する。

事業所で待機



<参考> 帰宅希望者用「確認書」(例)

確認書 (例)

_____株式会社 御中

今般の災害において、私は貴社から社会的要請および安全上の観点から会社施設内に待機するよう度重なる要請を受けました。しかし、私側の諸事情により、会社施設内を退去し、自宅に帰宅することとしましたので、その旨お届けいたします。

以上のとおり私の意思で退去するものですから、帰宅途上において、私が負傷、死亡、行方不明等になったとしても、当然、会社には何らの責任もないことを確認します。また、帰宅途上は、緊急車両の邪魔にならないこと、道路啓開作業に支障にならないように配慮します。

_____年__月__日

氏名_____ (自筆)

※出典：新宿駅周辺防災対策協議会 新宿駅周辺地域都市再生緊急整備協議会 共催シンポジウム 講演資料
丸の内総合法律事務所 弁護士 中野明安「災害対応における企業等の法的リスクと事業連携による地域防災のポイント」25頁 (2017年2月17日)